

## 2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社グラフィコ 上場取引所 東  
コード番号 4930 URL https://www.graphico.co.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 長谷川 純代  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長 (氏名) 榎並 正太郎 (TEL) 03-5759-5077  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年6月期第2四半期の業績 (2023年7月1日~2023年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,144	8.7	256	2.4	320	30.6	210	24.1
2023年6月期第2四半期	2,893	30.8	249	△2.2	245	△4.8	169	△4.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2024年6月期第2四半期	円 銭 224.64		円 銭 218.03					
2023年6月期第2四半期	182.07		176.81					

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年6月期第2四半期	3,869	2,470	63.9
2023年6月期	3,842	2,315	60.2

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 2,470百万円 2023年6月期 2,315百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年6月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年6月期	-	0.00			
2024年6月期(予想)			-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年6月期の業績予想 (2023年7月1日~2024年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,765	13.5	331	20.8	346	7.3	240	8.5	256.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年6月期2Q	938,540株	2023年6月期	938,540株
------------	----------	----------	----------

② 期末自己株式数

2024年6月期2Q	122株	2023年6月期	74株
------------	------	----------	-----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年6月期2Q	938,458株	2023年6月期2Q	933,142株
------------	----------	------------	----------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類移行による個人消費やインバウンド需要の回復等、景気に持ち直しの動きはありますが、依然として原材料価格の高騰、為替相場の円安進行等も続いており、先行きは不透明な状況が継続しております。

当社が属する健康食品、化粧品及び日用雑貨業界におきましては、国内の個人消費に持ち直しの動きは見られる一方で、各種消費財の値上げが行われており、今後の消費動向も含めた影響の予測が難しい状況にあります。

このような状況の下、当社は「モノ創りで、笑顔を繋ぐ。」を経営ビジョンとして、変容する働き方やライフスタイルの中で頑張る方々を応援し、笑顔で幸せな生活を楽しんでいただくための商品を創出するメーカーとして、常にお客様の立場に立って、興味・共感を得られる実感値の高いモノ創りに挑戦し続けてまいります。

また、ウィズコロナにおける新しい生活様式に関連した消費行動の変容を中心に、当社の強みである企画・開発力、プロモーション力を活かし、多様化する消費者ニーズを捉えた高付加価値で競争力の高い商品の開発に取り組んでおります。さらに、回復傾向にあるインバウンド需要の取り込みに向けた取り組みも進めております。

当第2四半期累計期間では、「ハウスホールド」カテゴリーの主要ブランドである「オキシクリーン」が引き続きリピート需要の伸長により業績を牽引したことに加えて、「ビューティケア」カテゴリーにおいて、あたため素材である「よもぎ温座パット」の需要増加や「フットメジ」が堅調に推移しました。業績は好調に推移したほか、フェムテック分野への積極的なPR活動を実施しました。

売上は好調に推移しているものの、原材料価格の高騰や円安進行が継続していることもあり、売上総利益率は低下しております。一方で、為替ヘッジ対策等の経常利益を確保する施策を実行しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,144,707千円（前年同期比8.7%増）、営業利益は256,001千円（前年同期比2.4%増）、経常利益は320,574千円（前年同期比30.6%増）、四半期純利益は210,817千円（前年同期比24.1%増）となりました。

当社は健康食品、化粧品、日用雑貨の企画及び販売を主たる事業とする単一セグメントであるため、セグメント情報に代えて商品カテゴリー毎の取り組み状況について記載しております。カテゴリーは、健康食品を中心とする「ヘルスケア」、化粧品を中心とする「ビューティケア」、日用雑貨の「ハウスホールド」で構成されております。なお、2023年2月1日付で、医薬品事業を他社に承継させたことにより、当第2四半期累計期間においては「医薬品」及び「その他」カテゴリーの売上高は発生しておらず、上記3つのカテゴリー売上になっております。

#### (ヘルスケア)

ヘルスケアに区分される商品におきましては、コロナ禍における店頭展開の減少の影響により、全体として苦戦しておりましたが、インバウンド需要の回復傾向に合わせて、売上に回復の兆しが見えてきております。その結果、ヘルスケア商品の売上高は、106,267千円（前年同期比1.1%減）となりました。

#### (ビューティケア)

ビューティケアに区分される商品におきましては、フェムテック商品である「よもぎ温座パット」において新商品の販売を開始、スキンケア商品である「セバメド」の一般販売を開始したこともあり、売上拡大に貢献いたしました。その結果、ビューティケア商品の売上高は、282,192千円（前年同期比15.4%増）となりました。

#### (ハウスホールド)

ハウスホールドに区分される商品におきましては、酸素系漂白剤ブランド「オキシクリーン」では、継続して積極的なPR活動や更なる認知度向上のためのプロモーション活動を実施してまいりました。つめかえタイプの販売も好調に推移していることから継続ユーザーの拡大も進んでおり、売上が増加しております。その結果、ハウスホールド商品の売上高は2,756,247千円（前年同期比11.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ26,795千円増加し、3,869,568千円となりました。これは四半期会計期間末日が休日であったことにより受取手形及び売掛金が480,602千円増加した一方で、原材料及び貯蔵品が169,973千円、商品及び製品が250,941千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ129,066千円減少し、1,398,578千円となりました。これは主に、定時返済などで社債及び長期借入金がそれぞれ50,000千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ155,861千円増加し、2,470,989千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が210,817千円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が37,934千円、繰延ヘッジ損益が16,910千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.9%（前事業年度末60.2%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ91,704千円減少し、608,398千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、12,960千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上320,574千円、棚卸資産の減少額420,914千円、当第2四半期会計期間末日が金融機関の休日であったことによる売上債権の増加額480,602千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による資金の減少は、4,453千円となりました。これは有形固定資産の取得による支出4,453千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による資金の減少は、100,111千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出50,000千円、社債の償還による支出50,000千円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月14日の「2023年6月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	700,103	608,398
受取手形及び売掛金	653,923	1,134,525
商品及び製品	1,029,279	778,338
原材料及び貯蔵品	434,679	264,705
その他	104,777	156,587
貸倒引当金	△1,235	△2,168
流動資産合計	2,921,528	2,940,388
固定資産		
有形固定資産	9,644	12,374
無形固定資産	17,900	14,881
投資その他の資産	893,699	901,923
固定資産合計	921,244	929,179
資産合計	3,842,772	3,869,568
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	182,346	190,378
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	100,000
未払法人税等	101,162	110,747
その他	363,940	317,229
流動負債合計	847,449	818,355
固定負債		
社債	350,000	300,000
長期借入金	325,000	275,000
資産除去債務	5,194	5,222
固定負債合計	680,194	580,222
負債合計	1,527,644	1,398,578
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	248,579	248,579
資本剰余金	238,579	238,579
利益剰余金	1,820,451	2,031,268
自己株式	△293	△404
株主資本合計	2,307,316	2,518,023
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,578	△53,513
繰延ヘッジ損益	23,389	6,479
評価・換算差額等合計	7,810	△47,033
純資産合計	2,315,127	2,470,989
負債純資産合計	3,842,772	3,869,568

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2023年12月31日)
売上高	2,893,604	3,144,707
売上原価	1,765,785	2,038,234
売上総利益	1,127,818	1,106,473
販売費及び一般管理費	877,922	850,472
営業利益	249,896	256,001
営業外収益		
受取利息	2	4
有価証券利息	—	16,898
為替差益	4,402	47,062
その他	1,173	4,379
営業外収益合計	5,578	68,344
営業外費用		
支払利息	2,158	1,724
社債利息	550	687
社債発行費	7,039	—
その他	242	1,358
営業外費用合計	9,990	3,770
経常利益	245,483	320,574
税引前四半期純利益	245,483	320,574
法人税、住民税及び事業税	94,407	101,284
法人税等調整額	△18,822	8,472
法人税等合計	75,585	109,757
四半期純利益	169,898	210,817

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	245,483	320,574
減価償却費	7,826	4,743
貸倒引当金の増減額(△は減少)	933	932
受取利息及び受取配当金	△2	△4
有価証券利息	—	△16,898
支払利息	2,158	1,724
社債利息	550	687
社債発行費	7,039	—
為替差損益(△は益)	△1,092	△43,147
売上債権の増減額(△は増加)	△486,551	△480,602
棚卸資産の増減額(△は増加)	654,749	420,914
仕入債務の増減額(△は減少)	△92,550	8,031
未払金の増減額(△は減少)	△8,856	△51,203
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△41,755	△69,011
その他の流動負債の増減額(△は減少)	143,381	4,734
その他の固定資産の増減額(△は増加)	245	△7,292
その他の固定負債の増減額(△は減少)	—	34
その他	27	27
小計	431,587	94,247
利息及び配当金の受取額	2	12,955
利息の支払額	△2,296	△2,356
法人税等の支払額	△7,509	△91,886
営業活動によるキャッシュ・フロー	421,784	12,960
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△830	△4,453
無形固定資産の取得による支出	△5,305	—
敷金及び保証金の回収による収入	454	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,681	△4,453
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△25,000	△50,000
社債の発行による収入	492,960	—
社債の償還による支出	—	△50,000
株式の発行による収入	658	—
自己株式の取得による支出	△63	△111
財務活動によるキャッシュ・フロー	768,554	△100,111
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,092	△99
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,185,749	△91,704
現金及び現金同等物の期首残高	310,301	700,103
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,496,050	608,398

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。